

件名 インディアナ州における4月6日以降の制限措置について

ポイント

3月23日（火）、ホルコム知事は、インディアナ州の現在の感染者数、陽性率、入院者数、死亡者数がいずれも1月中旬以降急激に減少しており、ワクチン接種が進んでいることから、4月6日より以下の措置をとることを発表しました。

会場施設等の収容人数に関する全ての決定は地方自治体に委ねられ、フェイスカバーの着用義務が着用勧告になります。

また、州保健局はこれまでどおり毎週、郡の測定値を提供し続け、各郡の感染状況を踏まえて色分けした4色（青、黄色、オレンジ、赤）の分類を継続します。

詳細は本文と添付リンクをご参照下さい。

本文

3月23日（火）、ホルコム知事は、インディアナ州の現在の感染者数、陽性率、入院者数、死亡者数がいずれも1月中旬以降急激に減少しており、ワクチン接種が進んでいることから、4月6日より、以下の措置を行うことを発表しました。

- 1 会場施設等の収容人数に関する全ての決定は地方自治体に委ねる。

2 州保健局は、毎週、郡の測定値を提供し続け、これまでどおり、各郡の感染状況を踏まえて色分けした4色（青、黄色、オレンジ、赤）の分類は継続する。

3 州政府は、レストラン、バー、ナイトクラブでは、着席を義務づけない。テーブルや他の席との間に6フィートの間隔をとることが推奨される。同一世帯以外のグループの間でも、同様に6フィートの間隔を空けることが推奨される。

4 全てのビジネスはCOVIDセーフガードを定めた、COVIDレスポンス・プランを維持する必要がある。

5 病院は緊急性のない処置や手術のスケジュールについて、通常の状態に戻すことができる。

6 教育局と保健局が協力して、来年度に向けて保健指導を更新する。

7 これまでのフェイスカバーの着用義務が着用勧告になる。ただし、すべての州政府建物や施設、すべての予防接種会場及び COVID 検査会場では、追って通知があるまで、フェイスカバーの着用が義務付けられる。

8 学校 (K-12)では、2020-21 スクールイヤーの残りの期間においては、現行のマスク着用義務が継続される。

○ 地方自治体、民間企業、その他の団体は、一層厳しいガイドラインを制定する場合があります。

○ 引き続き、社会的距離を確保、適切にマスクを着用し、CDC のガイドラインに従って行動することが推奨されます。

○ 郡ごとの色分けは以下のリンクを御覧ください。

<https://www.coronavirus.in.gov/2393.htm>

○ 今回発表された措置の概要は以下のリンクを御覧ください。

[https://events.in.gov/event/gov\\_holcomb\\_announces\\_plan\\_for\\_all\\_hoosiers\\_to\\_be\\_eligible\\_for\\_the\\_vaccine\\_march\\_31?utm\\_campaign=widget&utm\\_medium=widget&utm\\_source=State+of+Indiana](https://events.in.gov/event/gov_holcomb_announces_plan_for_all_hoosiers_to_be_eligible_for_the_vaccine_march_31?utm_campaign=widget&utm_medium=widget&utm_source=State+of+Indiana)

当館連絡先

Tel: (312) 280-0400 (24 時間対応) (注)

Fax: (312) 280-9568

Email: [ryoji1@cg.mofa.go.jp](mailto:ryoji1@cg.mofa.go.jp)

(注) コロナウイルス感染症予防のため、現在業務体制を縮小しております。平日午前9時15分から午後5時までは音声案内に従って操作しますと担当部門につながります。土曜・日曜・祝祭日、平日午後5時以降、翌日午前9時15分まで（事件、事故、その他緊急の用件）は、音声に従って操作しますと、閉館時の緊急電話受付につながります。